

令和 9 年 度

第 3 年次特別編入学 学 生 募 集 要 項

出 願 期 間	令和 8 年 5 月 2 8 日(木)～ 6 月 5 日(金)
試 験 日	令和 8 年 7 月 4 日(土)
合 格 発 表	令和 8 年 8 月 5 日(水)

※実施方法等に変更が生じた際には、大学ホームページ及び本学部ホームページにて情報を速やかにお知らせします。



令和 8 年 5 月

琉球大学工学部

<https://www.tec.u-ryukyu.ac.jp>

目 次

○工学部入学者受入れの方針	1
1. 募集人員	2
2. 編入学の時期及び年次	2
3. 出願資格	2
4. 選抜方法及び試験日程	3
5. 配点	3
6. 試験当日の集合場所及び集合時刻	4
7. 採点・評価基準及び合否判定基準	4
8. 出願手続	6
9. 受験に関する注意	8
10. 合格者の発表	9
11. 追加合格・第2次募集	9
12. 入学手続及び諸経費	9
13. 編入学後の単位認定及び履修	9
14. 第3年次特別編入学者に係る教員免許取得の取扱い	10
15. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）	10
16. 災害等による入学検定料の特例措置について	11
17. 出願に関する第2志望の取扱い（機械工学コース・エネルギー環境工学コース）	11
18. 個人情報の利用等	12
19. 試験会場案内図	13
20. 琉球大学案内図	14

受験に関する問合せ先

琉球大学工学部学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

TEL 098-895-8583（直通） FAX 098-895-8590

E-mail kggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

琉球大学工学部 Web ページ <https://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/>

琉球大学入試課 Web ページ <https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/>

○工学部入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

1. 教育理念・目的

（機械工学コース）

機械工学の基本的な学問体系を教授し、幅広い教養と技術者倫理、自らの知識・能力を活かして機器の設計、製造、研究開発に取り組めるものづくりの基礎、変化する環境に対して自らの力でこれら高められる自己学習能力を身に付け、国内外で幅広く活躍できる人材を育成することを目的とします。

（エネルギー環境工学コース）

エネルギー・環境問題を考慮し、エネルギー源や環境負荷低減技術の開発と利用、及びエネルギーの効率的な変換や制御と、環境に配慮した材料の知識に加えて、化学、環境、マネジメント工学などを学ぶことで、幅広い専門的な知識を有するとともに、それら複合分野を統合マネジメントし、総合的な問題であるエネルギー・環境分野に対応できる人材を育成することを目的とします。

（電気システム工学コース）

現代社会の基盤である電気エネルギーの効率的な発生や変換技術に加えて、人口減少や超高齢化社会に向けて持続可能な社会の形成に必要とされる再生可能エネルギーやロボットの活用を推進していくため、電気工学やシステム制御工学の専門知識を有し、幅広い視野と柔軟的思考を兼ね備えた人材を育成することを目的とします。

（電子情報通信コース）

進展する高度ICT社会において、それらを根幹から支えるエレクトロニクス技術と情報通信技術の基礎知識を有し、さらに情報通信機器の高機能化を実現する集積回路技術や新機能デバイス、高度通信技術、高度センシング技術などの専門知識を備え、情報通信、エレクトロニクス、またその融合分野で活躍できる人材を育成することを目的とします。

（社会基盤デザインコース）

亜熱帯性・島嶼性・海洋性の地理的特性を活かした環境調和型の工学的価値を創造し、空港、港湾、離島架橋、道路、鉄軌道を含む公共交通システム等、地域の観光リゾート産業を支える持続可能な社会基盤を創成するとともに、環境共生、災害リスク軽減、社会資本の長寿命化、及び新エネルギー開発に関わる海洋・海底資源開発等の技術的ニーズに対応できる人材を育成することを目的とします。

（建築学コース）

地域的課題の解決に資する役割を負って国内及び国際的に活躍できる素養を身に付けるため、亜熱帯島嶼地域の自然・社会・文化的条件のもとでの建築と地域環境のあり方を深く探求するとともに、普遍的な建築関連技術を修得することにより、自然と調和し安全で快適な建築物、それらの集合した都市・地域を計画・設計・建設・管理できる技術者を育成します。

（知能情報コース）

論理的思考力と自然科学の知識を基盤として知能情報分野の専門知識・実践力・デザイン能力・解析能力及び幅広い教養と技術者倫理・能動的学習能力を修得するとともに、知能情報技術が社会と人間及び環境に与える影響と使命を深く理解し、知能・情報・システムの先端技術を通じて国際的視点に立って柔軟かつ自律的に活躍できる技術者を養成します。

2. 求める能力・適性等

（各コース共通）

- (1)工学を学ぶ意欲と目的意識を有し、高等学校で学んだ基礎学力を身につけた人
- (2)修得した知識等を活用するための思考力、判断力、表現力を身につけている人
- (3)様々な諸課題を与えられた条件下で最良の結果を得るために主体的に努力できる人

【特に第3年次特別編入学で求める学生像】

各コースの専門分野に関する基礎的な知識及び学力を有し、さらに高度な専門知識と技術を身につけるために自ら積極的に学ぼうとする人。

3. 高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等

（各コース共通）

本学科が指定している受験科目を履修していることが望ましいです。数学、物理、特に微分・積分は本学科の学習内容に密接に関係しているので、確実に身に付けておくことが必要です。

4. 入学者選抜の基本方針

（各コース共通）

第3年次特別編入学入試では学力検査及び面接を課しています。学力検査では各コースの専門分野に関する基礎的な知識・技能と思考力を評価します。面接では学習意欲、表現力や主体性を評価します。

1. 募集人員

工学部工学科の募集はコース毎に行います。（※各コースの人数は目安人員です。）

工学部工学科（計20名）			
機械工学コース	2名	エネルギー環境工学コース	3名
電気システム工学コース	2名	電子情報通信コース	3名
社会基盤デザインコース	2名	建築学コース	2名
知能情報コース	6名		

2. 編入学の時期及び年次

令和9年4月入学とし、第3年次とします。

修業年限は2年とします。ただし、修業年限の2倍を超えて在学することはできません。

3. 出願資格

次の(1)～(7)のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者又は令和9年3月31日までに卒業見込みの者
 - (2) 短期大学、高等専門学校、旧国立工業教員養成所又は旧国立養護教諭養成所を卒業した者若しくは令和9年3月31日までに卒業見込みの者
 - (3) 工業及び工業に関する分野の専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者（学校教育法〈昭和22年法律第26号〉第90条第1項に規定する者に限る）又は修了見込みの者
- ※文部科学大臣の定める基準とは、「修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上」である。
- (4) 修業年限4年以上の大学に2年以上在学（休学期間を除く）し、62単位以上を修得した者又は令和9年3月31日をもって2年間在学（休学期間を除く）し、62単位以上を修得見込みの者
 - (5) 学校教育法施行規則附則第7条の規定により大学の第3年次に編入学できる者
 - (6) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者又は令和9年3月31日までに修了見込みの者
 - (7) 高等学校の専攻科の課程、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法〈昭和22年法律第26号〉第90条第1項に規定する者に限る。）若しくは令和9年3月31日までに修了見込みの者

4. 選抜方法及び試験日程

コース	試験方法		試験日	時間
機械工学コース	個別学力検査 (筆記)	材料力学，機械材料・工作法，流体力学，熱力学，制御工学の5科目の中から出願時に2科目選択	令和8年 7月4日 (土)	10:00~11:30
	面接			13:00~
エネルギー 環境工学コース	個別学力検査 (筆記)	材料力学，機械材料・工作法，流体力学，熱力学，制御工学の5科目の中から出願時に2科目選択		10:00~11:30
	面接			13:00~
電気システム工学 コース	個別学力検査 (筆記)	数学（微分方程式，線形代数学） 専門基礎（電磁気学，回路理論）		10:00~11:30
	面接			13:00~
電子情報通信 コース	個別学力検査 (筆記)	数学（微分方程式，線形代数学） 専門基礎（電磁気学，回路理論）		10:00~11:30
	面接			13:00~
社会基盤デザイン コース	個別学力検査 (口頭試問)	構造力学，水理学，土質力学		10:00~11:30
	面接			13:00~
建築学コース	個別学力検査 (筆記)	大学基礎科目 (英語，数学，物理)		10:00~11:30
	面接（口頭試問を含む）			13:00~
知能情報コース	個別学力検査 (筆記)	数学（微分積分学，線形代数学），情報工学（コンピュータ・アーキテクチャ，アルゴリズムとデータ構造）		10:00~11:30
	面接			13:00~

※暴風警報の発令等で上記期日に試験が実施できない場合は，令和8年7月11日（土）に試験を行います。

5. 配点

学科	個別学力検査	面接	合計
工学部工学科	200	100	300

6. 試験当日の集合場所及び集合時刻

コース	集合場所	試験方法	集合時刻
機械工学コース	2号館3階313(講義室)	個別学力検査 面接	9:30 12:45
エネルギー環境工学コース	2号館3階313(講義室)	個別学力検査 面接	9:30 12:45
電気システム工学コース	3号館1階104	個別学力検査 面接	9:30 12:45
電子情報通信コース	3号館1階104	個別学力検査 面接	9:30 12:45
社会基盤デザインコース	2号館5階504(アクティブラーニング室)	個別学力検査 面接	9:30 12:30
建築学コース	1号館2階221(大講義室)	個別学力検査 面接	9:30 12:30
知能情報コース	1号館3階321	個別学力検査 面接	9:30 12:45

※試験開始時刻(面接においては集合時刻)から30分を超えて遅刻した者は、受験できません。

7. 採点・評価基準及び合否判定基準

コース	採点・評価基準	合否判定基準
機械工学コース	<p>〈筆記試験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の専門分野に関して基礎力を確認する試験を課す。 解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 <p>〈面接〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 志願理由・動機、将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして、意欲や個性などを評価し、点数化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験又は口頭試問、面接を点数化し、総合得点で順位付けを行い、合否を判定する。 総合得点の上位から順次合格とする。ただし、成績によっては合格者が目安人員を下回る場合もある。 総合得点と同点の場合、同点者は全員同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、その順位の者すべてを合格者とする。 筆記試験又は口頭試問の各科目及び面接のいずれかでも欠席又は0点の者については、不合格とする。
エネルギー環境工学コース	<p>〈筆記試験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の専門分野に関して基礎力を確認する試験を課す。 解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 <p>〈面接〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 志願理由・動機、将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして、意欲や個性などを評価し、点数化する。 	

コ ー ス	採点・評価基準	合否判定基準
電気システム工学 コース	<p>〈筆記試験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門に関する基礎学力を確かめるために、数学、専門基礎の試験を課す。 ・解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 <p>〈面接〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志願理由・動機、将来計画及び長所・特技のアピールなどの質疑を通して意欲や個性などを評価し点数化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験又は口頭試問、面接を点数化し、総合得点で順位付けを行い、合否を判定する。 ・総合得点の上位から順次合格とする。ただし、成績によっては合格者が目安人員を下回る場合もある。 ・総合得点と同点の場合、同点者は全員同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、その順位の者すべてを合格者とする。 ・筆記試験又は口頭試問の各科目及び面接のいずれかでも欠席又は0点の者については、不合格とする。
電子情報通信 コース	<p>〈筆記試験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門に関する基礎学力を確かめるために、数学、専門基礎の試験を課す。 ・解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 <p>〈面接〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志願理由・動機、将来計画及び長所・特技のアピールなどの質疑を通して意欲や個性などを評価し点数化する。 	
社会基盤デザイン コース	<p>〈口頭試問〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会基盤工学に関する専門学力を確かめるために、構造力学、水理学、土質力学の試験を課す。 ・解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 <p>〈面接〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物、勉学意欲などについて質疑を行い、点数化する。 	
建築学コース	<p>〈筆記試験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学で学ぶ上で必要な基礎学力（英語、数学、物理）を確かめるための筆記試験を課す。 <p>〈面接（口頭試問を含む）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築学の基礎的知識を確かめるための口頭試問、及び、学習意欲、コミュニケーション能力（理解力、論理性、表現力）を確かめるための面接を行い点数化する。 	
知能情報コース	<p>〈筆記試験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門に関する基礎学力を確かめるために、数学、専門基礎の試験を課す。 ・解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 <p>〈面接〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物、学習意欲、将来計画、コミュニケーション能力（理解力、論理性、表現力）を評価して点数化する。 	

8. 出願手続

(1) 出願期間：令和8年5月28日（木）～6月5日（金）

出願書類の受付は郵送に限ります。郵送は「書留速達」とし、「工学部第3年次特別編入学願書」と朱書してください。出願最終日は、令和8年6月5日（金）17時必着とします。

(2) 送付先：琉球大学工学部学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

TEL 098-895-8583（直通） FAX 098-895-8590

(3) 出願書類

①編入学願書（添付用紙）

②受験票・写真票（添付用紙）

③調査書又は学業成績証明書等（出身学校の長が作成し、厳封したもの）

出願時までには修得した単位数が明記されたもの及び令和9年3月までに修得見込み（予定）の科目について確認できるものを提出してください。

④志願者整理表（添付用紙）

⑤卒業証明書又は卒業見込証明書（大学在学中の者は在学証明書，大学中退者は在学期間証明書）

⑥専修学校出身者は，出身学校が発行する，修了した課程又は修了する課程が文部科学大臣の定める基準を満たしていることの証明書

※文部科学大臣の定める基準とは，「修業年限が2年以上で，かつ，課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上」である。

⑦在留資格を証明するもの（外国籍の者のみ）

【日本国内に居住している者】

○「パスポート」の写し（氏名・国籍・顔写真の分かるページ）及び「住民票の写し」（市区町村発行。国籍・在留資格・在留期間が記載されたもの。マイナンバー記載なし。）を提出してください。

【出願時に日本国内に居住していない者】

○「パスポート」の写し（氏名・国籍・顔写真の分かるページ）を提出してください。

⑧返信用封筒（受験票返送用）

長形3号封筒（縦23cm×横12cm）に410円分の切手を貼付し，出願者の郵便番号・住所・氏名を記入のうえ提出してください。

⑨検定料納入証明書（大学用）

災害救助法が適用されている地域のうち文部科学省から配慮依頼がある災害で被災した志願者に係る検定料は特例措置により免除されます。詳しくは11ページをご覧ください。

検定料振込期間 令和8年5月25日（月）～6月5日（金）

(4) 検定料振込方法

振込は，a.銀行窓口，b.ATM 又はインターネットバンキングを利用することができます。

なお，振込の際には金額の誤りに十分にご注意ください。

また，振込手数料については，志願者本人負担となります。

a. 銀行窓口

検定料振込書に必要な事項を記入のうえ，検定料振込書に記載の「記入上の注意」をよく読み，最寄りの金融機関から振り込んでください。

※この募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は，各金融機関備付の振込依頼書で振り込んでください。

振込名義を必ず志願者本人にして，氏名の前に募集区分（工学部第3年次特別編入は1522）を入力してください。

例)

1	5	2	2	タ	ゝ	イ	カ	ゝ	ク	タ	ロ	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

振込先口座，金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。
受領書の写しを「検定料納入証明書（大学用）」の代わりに提出してください。

b. ATM 又はインターネットバンキング

振込名義を必ず志願者本人にして、氏名の前に募集区分（工学部第3年次特別編入は1522）を入力してください。

例)

1	5	2	2	タ	ゝ	イ	カ	ゝ	ク	タ	ロ	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

・氏名を記入した「検定料納入証明書（大学用）＊1」の原本及び「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し＊2」を志願書類に同封して提出してください。

＊1 「検定料納入証明書（大学用）」：検定料振込書の左端。取扱金融機関収納印は必要ありません。

＊2 「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」の裏面に募集区分（1522）・氏名を記入してください。

～海外からの支払いを希望する方へ How to Pay Student Fees from Overseas～

本学においては、海外からの学納金収納サービス（Convera GlobalPay）を導入しております。海外からの支払いを希望する方は、下記サイトにアクセスし、必要事項を入力の上、検定料の支払いを行ってください。

二次元コード

Convera GlobalPay for Students: <https://students.convera.com/ryukyuc.jp>



なお、当該サービスを利用する場合は、送金に時間を要することがありますので、5月27日（水）までに手続きください。

詳しくは、大学ホームページ内「How to Pay Student Fees from Overseas」をご覧ください。For more details, please see "How to Pay Student Fees from Overseas" on the university website.

二次元コード

琉球大学ホームページ（授業料等）：<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/fee/>



(5)留意事項

ア. 検定料が振り込まれていない場合、「検定料納入証明書（大学用）」が出願書類に同封されていない場合、「a. 銀行窓口利用で「検定料納入証明書（大学用）」に取扱金融機関収納印がない場合及び b. ATM 又はインターネットバンキング利用で「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」を志願書類に同封されていない場合は、出願書類を受理しません。

イ. 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

1)検定料を振り込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）。

2)誤って検定料を二重に振り込んだ場合。

3)特例措置対象者が検定料を振り込んだ場合。

※上記 1), 2)に該当する場合は、以下のとおり返還手続きを行ってください。

上記 3)に該当する場合は、返還手続きに加え、16.の手続きを行ってください。

(6)返還手続き

返還手続きは WEB 上での登録となります。以下の二次元コード、URL から申請を行ってください。

検定料払戻：請求受付 URL : <https://forms.office.com/r/5WGkRXi4Qc>



※返還には請求情報登録後、1ヶ月程度かかります。

申請期限：令和9年3月31日（水）

お問い合わせ先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

国立大学法人琉球大学 財務部経理課収入・支出係（大学本部棟2階）

TEL 098-895-8058（直通）

(7) 出願に関する注意事項

- ・氏名は、通称・略字等は使用せず、正確かつ丁寧に記入してください。
- ・出願書類に記入もれ、その他不備がある場合は受理しません。
- ・出願書類の受付後は、出願書類の返却及び記載事項の変更は認めません。
- ・出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

9. 受験に関する注意

- (1) 試験場は、できるだけ事前に下見をしておいてください。なお、試験場の試験室配置図及び注意事項は、7月3日（金）の15時以降に工学部1号館前の他、数か所に掲示します。
- (2) 試験当日は、4ページに記載の集合時刻までに各コース指定の集合場所へ集合してください。なお、試験室への入室は監督者の指示に従ってください。
- (3) 試験室へ入室し、座席に着いたとき、受験票の「受験番号」と机に貼ってある「受験番号」が同じであることを確認してください。
- (4) **試験開始時刻（面接においては集合時刻）から30分を超えて遅刻した者は、受験できません。**
- (5) 試験室の机上には、本学の受験票、時計（計時機能だけのもの）、筆記用具「鉛筆（HB）、シャープペンシル（HB）、消しゴム、鉛筆削り（電動式を除く）」のみを置いてください。それ以外の所持品は、監督者の指示に従ってください。なお、機械工学コース、エネルギー環境工学コースでは**関数電卓**を用いる場合がありますので各自で持参してください。
- (6) 問題用紙は、試験開始の合図があるまで絶対に開かないでください。
- (7) 解答用紙には、受験番号を正確に記入してください。受験番号の記入もれ又は誤記がある場合は、無効とすることがあります。
- (8) 試験中に不正行為をしたり、あるいは解答用紙等を試験室外に持ち出した場合は、無効となります。
- (9) 試験中に質問、用便、身体の不調がある場合は、挙手をして監督者の指示に従ってください。
- (10) 試験開始後35分以内の退室は認めません。試験開始後35分を超えた場合は退室できます。試験時間終了前に退室する場合は、挙手をして監督者の指示に従い、静かに退室してください。
- (11) 解答用紙は解答の如何にかかわらず、必ず提出してください。
- (12) **携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は試験室に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいてください。**
- (13) 悪天候等による交通機関の遅延・欠航・運休が予想される場合は、十分な時間的余裕をもって試験会場に到着するようにしてください。
- (14) 入学試験を欠席する場合は、事前に工学部学務係（098-895-8583）へ連絡してください。
- (15) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、既に受験した個別学力検査等の成績も無効となります。
 - ① 編入学願書、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど）をすること。
 - ② カンニングをしたり、カンニングの手助けをすること。
 - ③ 試験時間中（控え室での待機中も含む）に試験監督者等に許可なく携帯電話やスマートフ

オン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。また、これらの機器をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていること。

- ④ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ⑤ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ⑥ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑦ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑧ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

10. 合格者の発表

発表日：令和8年8月5日（水）

発表方法

- (1) 工学部1号館1階工学部事務室前の掲示（11時）
- (2) 合格者への合格通知書の送付
- (3) 工学部ウェブサイト（<https://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/>）での掲載

※合格通知を受けた者は、特別編入学確約書を令和8年10月7日（水）までに提出してください。同日までに提出がない場合は辞退したものと取り扱うこととなりますのでご留意願います。

11. 追加合格・第2次募集

合格者の入学辞退等により、募集人員に満たない場合は、追加合格又は第2次募集により欠員を補充する場合があります。

12. 入学手続及び諸経費

入学手続等については、特別編入学確約書提出者に対して令和9年2月中旬頃に「入学手続案内」を送付しますので、それに従い入学手続を行ってください。

なお、入学手続期間は、令和9年3月中旬頃を予定しています。

（注）出願資格（2ページ参照）の「大学において令和9年3月31日をもって2年間在学（休学期間を除く）し、62単位以上を修得見込みの者」が、合格した後、これらの要件を満たすことができない場合は、入学することができません。

入学料は銀行振込となります。詳細は「入学手続案内」で通知します。

- | | |
|-----------|---------------------------|
| ①入学料 | 282,000円（予定額） |
| ②授業料（前期分） | 267,900円（年額535,800円）（予定額） |

（注1）上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

（注2）授業料の納入については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

（注3）入学料の免除又は徴収猶予あるいは授業料の免除を希望する者（対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。）は所定の免除申請手続きを行うことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の納入が猶予されます。

13. 編入学後の単位認定及び履修

高等専門学校及び大学等で修得した単位を、本学における授業科目の単位として読み替える申請があった場合、既得科目の内容が、原則として認定を希望する本学の授業科目と同等とみなされ、かつ、単位数が同一又は多い場合に限り、本学の当該授業科目の範囲内で認めることがあります。

高等専門学校については、既得科目のうち、高学年（4・5学年）で開講される科目を認定の対象とします。ただし、高学年以外の授業科目であっても、内容が大学学部の授業科目と同程度であ

ることが証明できる場合は、認定することがあります。

単位認定の申請に際しては、2月初旬に手続きの案内をメールで送付しますので、2月末までに単位認定資料（授業内容と評価方法、評価基準が分かるシラバス、成績証明書、教科書など）を提出してください。成績証明書については、取り寄せ次第、工学部学務係宛てに pdf 形式でメール送付の上、原本を提出してください。単位認定資料の提出がない場合は、単位が認定されない場合があります。

なお、単位認定状況及び修学状況によっては、本学を卒業するのに修業年限（2年）を超える年数を要することがあります。

14. 第3年次特別編入学者に係る教員免許取得の取扱い

編入前の既修得単位を単位認定した科目について、教員免許取得のための教科に関する科目として適当であると認めた科目の単位の取扱いは以下のとおりとなります。

教育職員免許法施行規則第 66 条の7

以下の各課程において修得した単位のうち、教科に関する専門的事項に関する科目の単位として適当であると認める科目の単位は、以下に掲げる単位数を限度とする。

課程	免許状の種類	単位数
高等専門学校（第四学年及び第五学年に係る課程に限る。）	高等学校の教諭の普通免許状	10 単位
専修学校の特定専門課程		10 単位
専修学校の専攻科		5 単位

15. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）

障がい等を有する者、疾病・負傷等により受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」を郵送にて提出してください。

申請された配慮事項について、本学において検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。検討結果通知書の受領後は、記載事項を確認のうえ同封の書類をご返送ください。

また、上記手続きには2～3週間を要します。合理的配慮の内容によっては、対応にさらなる時間を要する場合があります。事前相談は随時受け付けておりますので、早めの相談、申請書の提出をお願いいたします。

(1) 申請期限 令和8年5月14日（木）（消印有効）

※申請期限後の書類については、受理しませんのでご注意ください。

※なお、申請期限後に不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため、受験上の配慮を希望する場合は、下記連絡先までご相談ください。

(2) 申請方法

以下の書類を、障がい学生支援室へ「簡易書留」又は「レターパックプラス」で郵送してください。

- ①「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」（本学指定の様式）
- ②「医師からの意見書」（受験生用）（本学指定の様式）
- ③その他検討する際に必要な参考資料

※上記①及び②の本学指定の様式は、本学障がい学生支援室ホームページ(<https://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/>)「支援を希望される皆さまへ」よりダウンロードできます。

※必要に応じて、追加資料の提出を依頼することもあります。

※本学が必要と判断した場合は、本学において志願者、保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

問い合わせ先：琉球大学障がい学生支援室
 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
 琉球大学障がい学生支援室
 TEL 098-895-8750 FAX 098-895-8791
 E-mail g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

16. 災害等による入学検定料の特例措置について

本学では、令和9年度の全ての入学者選抜に関して、被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特例措置を実施します。

(1) 措置内容

検定料の免除 30,000円

(2) 免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類
①災害救助法が適用されている地域のうち文部科学省から配慮依頼がある災害で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	ア又はイの書類
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	罹災（りさい）証明書
イ 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
②居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

(3) 申請の方法

入試区分	申請方法
第3年次特別編入学入試	<p>本学所定の様式（検定料免除申請書）に、罹災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。</p> <p>なお、申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。</p> <p>また、既に納入した検定料の返還を希望する場合は、8.（6）記載の手順にて、申請してください。申請後、検定料を返還します。</p> <p>※返還金払戻請求の申請期限は、令和9年3月31日（水）までとします。</p> <p>※検定料免除申請書、罹災証明書等については紙媒体での提出、返還金払戻請求は、WEB上での申請となります。</p> <p>検定料免除申請書、罹災証明書等提出先 提出先 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 琉球大学工学部学務係 TEL 098-895-8583（直通）</p>

17. 出願に関する第2志望の取扱い(機械工学コース・エネルギー環境工学コース)

- 第1志望として機械工学コース又はエネルギー環境工学コースに出願する者は、第2志望としてエネルギー環境工学コース又は機械工学コースに出願することができます。
- 第1志望のコースに合格した場合は、第2志望のコースの合否判定の対象者とはしません。
- 合否判定においては、第1志望とする者及び第2志望とする者（第1志望のコースへの合格者を除く）を対象者とし、総合得点の上位から順次合格者とします。
- 上記(3)において、第2志望とする者が第2志望のコースの合格者となった場合は、その者を第1志望のコースの追加合格候補者としません。

18. 個人情報の利用等

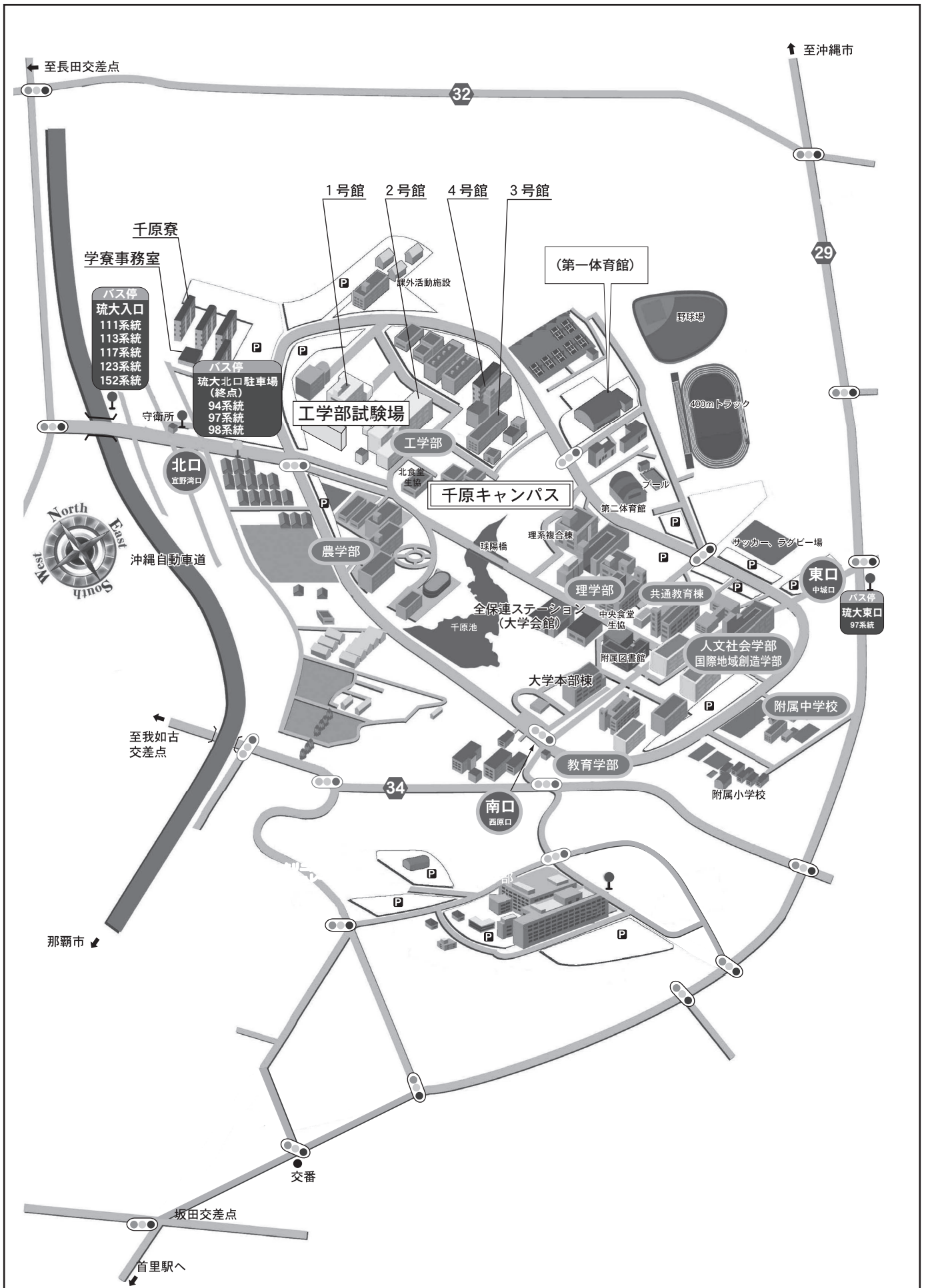
- (1) 本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、次のとおり利用又は提供しますので、予めご了承ください。
 - ①入学者選抜、合格発表及び入学手続きに係る業務で利用します。
 - ②入学手続き及びその保護者等の住所・氏名等につき、学生支援関係業務(健康診断、入学科免除、入学科徴収猶予、授業料免除、奨学生採用、就職支援、入寮手続等)、教務関係業務(学籍管理、就学指導、成績管理等)。納入金関係業務(授業料徴収等)で利用します。
 - ③入学者選抜に係る統計処理及び調査研究で利用します。なお、統計処理及び調査研究の結果発表を行う際は、個人が特定できないよう配慮します。
 - ④国立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続き等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。
 - ⑤本学の関連団体である琉球大学同窓会、琉球大学後援財団、各学部・学科同窓会、各学部・学科後援会及び琉球大学生生活協同組合に、氏名等の個人情報を当該組織の活動に必要な範囲において提供する場合があります。

- (2) 上記(1)の各種業務での利用にあたっては、本学から当該業務の委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)に、必要な限度において当該個人情報を提供する場合があります。この場合、受託業者に対し、当該個人情報について、その利用の目的若しくは方法の制限その他必要な制限を付し、かつその漏えい防止その他個人情報の適切な管理のために必要な措置を講ずることを求めます。

- (3) 出願書類の不備等がある場合、その訂正・補完を速やかに行っていただくため、本学を受験されること及び出願書類に不備等があることを、保護者又は所属学校等に通知する場合があります。

- (4) 本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、上記及び個人情報の保護に関する法律第18条、第27条及び第28条に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

19. 試験会場案内図



20. 琉球大学案内図



学部	試験場	最寄りのバス停	交通機関
工学部	工学部棟	琉大北口 大駐車場	那覇バスターミナル発 ▶ 琉大(首里)線「97番」琉大東口又は琉大駐車場(終点)で下車 ▶ 琉大(バイパス)線「98番」琉大駐車場(終点)で下車 那覇空港発 ▶ 高速バス「111番・113番・117番・123番・152番」琉大入口で下車 ▶ やんばる急行バス琉大入口で下車(101便(通過便)を除く) ▶ 沖縄都市モノレール(ゆいレール)てだご浦西駅で下車, てだご琉大快速線「294番」(琉大敷地内下車) ▶ 沖縄都市モノレール(ゆいレール)首里駅で下車, 首里駅琉大快速線「94番」(琉大敷地内下車) ▶ 沖縄都市モノレール(ゆいレール)儀保駅で下車, 琉大(首里)線「97番」琉大東口又は琉大北口駐車場で下車

那覇空港 ▶ 琉球大学

高速バス 1時間に1本程度/所要時間: 35~45分

111 番線 琉球バス・沖縄バス・那覇バス・東陽バスの4社が交互運行

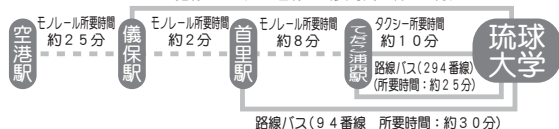
113 117 123 152 番線 琉球バス

経路 空港→沖縄自動車道→琉大入口下車
(琉大入口にて下車、琉大北口まで徒歩で約4分)

その他、やんばる急行バスも運行しています。

モノレール

路線バス(97番線 所要時間: 約45分)



那覇空港 ▶ 那覇バスターミナル

路線バス 各50~60分に1本程度/所要時間: 10~20分



モノレール 各6~12分に1本程度/所要時間: 11分

旭橋駅下車

那覇バスターミナル ▶ 琉球大学

路線バス 各20~40分に1本程度/所要時間: 40~50分

琉大東口北口方面 **97** 番線 那覇バス
経路 バスターミナル→国際通り(牧志)→儀保(首里)→旧琉球大学病院→琉大東口→琉大北口駐車場(終点)

琉大北口方面 **98** 番線 琉球バス
経路 バスターミナル→国際通り(牧志)→バイパス→真栄原→沖国大前→琉大北口駐車場(終点)

第3年次特別編入学願書記入要領

入学願書の記入にあたっては、黒か青色のインク又はボールペンを使用し、文字は楷書、数字は算用数字で正確に記入してください。

1. 志望コース

志望するコース（第1志望のみ）を○で囲んでください。機械工学コース又はエネルギー環境工学コースの志願者で、第2志望としてエネルギー環境工学コース又は機械工学コースを希望する者は指定欄に○を記入してください。（11ページの「17. 出願に関する第2志望の取扱い」参照）

2. 氏名・性別等

氏名は戸籍上の氏名を記入し、性別は該当する文字を○で囲んでください。

3. 連絡先

本学からの通知等は、すべてこの住所宛に行うので正確に記入してください。変更があった場合は、琉球大学工学部学務係（098-895-8583）に連絡してください。

4. 出願資格

出身学校の所在地（都道府県名のみ）、設置者の別（国立、公立、私立の該当する文字を○で囲んでください）、学校名、学部名、学科名・課程名等を記入してください。

5. ※印欄は記入しないでください。

第3年次特別編入学

受験番号	※	
志願学部 ・学科	工学部 工学科	
志望コース	コース	
受験科目 <small>(機械工学コース、 エネルギー環境工 学コースのみ記入)</small>		
フリガナ		男 ・ 女
氏名		
写真貼付欄 (上半身・脱帽・ 正面向きで、出 願前3ヶ月以内 に撮影したもの) 縦4cm×横3cm		

記入上の注意

1. 志望するコース名(第1志望のみ)を記入してください。第2志望のコース名を記入しないようご注意ください。
2. 機械工学コース, エネルギー環境工学コースへ出願する場合は, 本募集要項3ページから受験科目を2科目選択し, 記入してください。
3. 受験票の裏面(受験心得)を確認してください。
4. 写真の裏面に氏名を記入してください。
5. ※印欄は記入しないでください。
6. 出願の際は, 破線部から丁寧に切り離してください。

第3年次特別編入学

受験番号	※	
志願学部 ・学科	工学部 工学科	
志望コース	コース	
フリガナ		男 ・ 女
氏名		
※ 出席欄	写真貼付欄 (上半身・脱帽・ 正面向きで、出 願前3ヶ月以内 に撮影したもの) 縦4cm×横3cm	

受 験 心 得

- (1) 試験当日の集合場所・集合時刻については、4ページをご確認ください。
- (2) 試験開始時刻（面接（口頭試問を含む。）においては集合時刻）から30分を超えて遅刻した者は、受験できません。
- (3) 不正行為のあった者は、直ちに退室を命じます。
- (4) 受験に際しては、本受験票を必ず携帯してください。
- (5) 本募集要項8ページの「9.受験に関する注意」を熟読してください。
- (6) 機械工学コース又はエネルギー環境工学コースに志願する者は関数電卓を持参してください。

検定料免除申請書

令和 年 月 日

国立大学法人琉球大学長 殿

(請求者)

受付番号 (大学側で記入)

入学者選抜試験の種類

■第3年次特別編入学

出願学部 工学部 工学科 _____ コース

フリガナ

志願者氏名 印

住 所

電 話

災害救助法が適用されている地域のうち文部科学省から配慮依頼がある災害について、下記のとおり被災しましたので、罹災証明書等を添付の上、検定料の免除を申請します。

記

被災状況 (該当箇所にチェックしてください。)

- 全壊 大規模半壊 半壊 流出
学費負担者死亡又は行方不明
福島第一原子力発電所事故による避難区域等

(記入上の注意)

- この検定料免除申請書はコピーして使用してもよい。

記入上の注意

- 「**検定料振込書**」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。《**依頼日、入学志願者氏名（フリガナ）、住所、電話番号、振込先（枠内に○印）**》
- 振込手数料については、志願者本人負担となります。
- 金融機関窓口から「**検定料納入証明書（大学用）**」を受け取る際は、**取扱金融機関収納印が押印されているか確認**してください。
- 「**検定料納入証明書（大学用）**」は**出願書類に同封して提出**してください。
- 以下の「**検定料振込書**」が使用できない場合は、各金融機関に備え付けの「**振込依頼書**」で振り込んでください。その後、振込依頼書の控え（写し可）及び氏名を記入した「**検定料納入証明書（大学用）**」の原本を出願書類に同封して提出してください。振り込みの際は、振込人氏名（志願者本人）の前に「**募集区分（1522）**」を付してください。

検 定 料 振 込 書

(振込前に志願者で切離し)

検定料納入証明書（大学用）

★出願書類に同封して提出ください。

※依頼日		年 月 日	
金額		¥30,000-	
※振込先 行いずれかを する銀	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711	
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366	
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358	
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859	
募集区分 (フリガナ)	1522		
	氏名		
令和9年度 琉球大学 検定料 工学部 第3年次特別編入学			

(大学提出時に切離し)

振込金（兼手数料）領収書		手 数 料	
※依頼日		年 月 日	
振 込 金 額		¥ 3 0 0 0 0 円	
※振込先 行いずれかを する銀	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711	
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366	
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358	
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859	
受取人 口座名		国立大学法人 琉球大学	
※依頼者 (フリガナ)			
	氏名		
令和9年度 琉球大学 検定料 工学部 第3年次特別編入学			

上記のとおり領収しました。

(取扱店→振込人)

取扱店へのお願い
○太枠内を打電してください。
○募集区分、フリガナの順に打電してください。

(振込時金融機関で切離し)

振 込 依 頼 書		電信扱	勘定科目					
※依頼日		年 月 日		振込指定	電信扱	手数料		
※振込先 行いずれかを する銀	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711	金額		¥ 3 0 0 0 0 円			
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366	現金					
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358		内訳				
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859						
口座受取人 名		コクワツダ イクホクシツン リョウキョウダク イクク 国立大学法人 琉球大学						
※依頼者 人	募集区分	1522	※フリガナ					
	※氏名							
※(住所)		(電話番号)						
備考		令和9年度 琉球大学 検定料 工学部 第3年次特別編入学 【納入期間】 令和8年5月25日（月）から 令和8年6月 5日（金）まで						

(取扱店用)

取扱金融
機関
収納印



(取扱店→振込人→大学)

志願者整理票

※ 印欄は記入しないこと。

琉球大学工学部第3年次特別編入学者選抜試験

受験番号 (記入しないこと)	(フリガナ)	性別	出身学校名	学科名
	氏名		出身学校所在都道府県名	
※	()	男・女		

合格通知書送付先 (団地・棟・号や下宿先等を必ず記入すること。)

住所 (〒)

氏名 殿

(※受験番号)

入学手続書類送付先 (団地・棟・号や下宿先等を必ず記入すること。)

住所 (〒)

氏名 殿

(※受験番号)